

みなみさんりく 議会だより



No. 49

平成 30 年 5 月 1 日発行

特集

1. 平成30年度当初予算 P2
2. 住民と議会との懇談会 P4



《表紙》国道 45 号線開通。
笑顔の渡り初め。(3/29)

- 地域おこし協力隊 特別職に — 《議案審議》 P 6
- 医療環境の改善へ一歩ずつ — 《補正予算》 P 7
- ここが聞きたい — 《一般質問》 P 8
- まちづくりへの提言 — 《委員会報告》 P18
- 2 月臨時議会・3 月定例会 — 《議案一覧》 P20
- 請願・陳情・要望書 — 《議会へのお願ひ》 P21
- 松原グラウンド復旧へ — 《臨時議会》 P22
- 寄宿舍建設見合わせ — 《特別委員会》 P23

平成30年度 一般会計総額330億円 原案どおり可決 ～復興事業の総仕上げへ～

特集1

3月定例議会では、新年度の予算について特別委員会を設置し、時間をかけて慎重な議論がおこなわれました。実質6日間の審査によって、一般会計と9つの特別会計の当初予算は、すべて原案どおり可決しました。特別委員会での審査の前には、町長による施政方針演説と、それに対する総括的な質疑がおこなわれました。

町長に訊く！

大きな視点から、ここが課題

- 問** (千葉伸孝議員) 人口減少問題への対策は。
- 答** 国としての対策が重要。町としては、新年度も子育て支援を引き続き重視し、新たに結婚支援事業にも着手する。
- 問** (山内孝樹議員) 空き家バンクなどの移住・定住推進策は。
- 答** 眠っていた地域資源に、外から来た人たちが気付かせてくれた。住居の仲介等、支援する。
- 問** (倉橋誠司議員) ASC、FSCの出口戦略は。
- 答** 生産者の利益にどうつながるかが課題。
- 問** (今野雄紀議員) 復興予算が7割を占める。平成33年度以降に向けた町政運営の考え方は。
- 答** 通常の財政に戻った時に備
- 問** (千葉伸孝議員) 人口減少問題への対策は。
- 答** え、ソフトランディングを意識していく。
- 問** (菅原辰雄議員) 予算における目玉は。
- 答** 主要方針すべてが目玉である。
- 問** (後藤伸太郎議員) 職員の意識改革が必要では。
- 答** 同じ組織にしていると考え方がないようになり取り組む状況なのは理解するが、事業の見直しによる行政サービスの低下が懸念されるが。
- 問** (高橋兼次議員) 厳しい財政状況なのは理解するが、事業の再建団体となった苦い経験がある。将来に向け厳格に判断する。

一般会計

歳入

企業からの税収は

町税

- Q** (今野雄紀委員) 町民税の法人分について、前年より減額見込みだが。
- A** 町内・町外の区分はしていないが、28年度をピークに下がり気味。

地方交付税

- Q** (高橋兼次委員) 震災特例により一定の交付額が維持されているが、今後の見直しは。
- A** 29%の人口減に対し急減緩和措置があったが、32年度までである。その後の具体的な想定は難しいが、慎重に考える。

町営住宅使用料未請求問題、回収はどこまで

使用料

Q (倉橋誠司委員) 未請求分の納入状況は。

A 未請求、または正しい家賃が確定するまで請求を停止していたものは1718万円ほどあり、そのうち1200万円、約7割が納入されている。

図書館再建に関する寄附の使いみち

寄付金

Q (今野雄紀委員) シンガポール赤十字からの寄附金で、書架を購入するとのことだが。

A 2カ年で4000万円の寄附をいただき、図書館と公民館合わせての再建である生涯学習センター事業に使う。

災害援護資金の貸付について

諸収入

Q (菅原辰雄委員) 災害援護資金の回収状況は。

討論

反対

今野雄紀委員
戸倉地区の新水源上流で汚染稲わらを処理する予算は承認できない。

千葉伸孝委員
民間委託や移住者による事業で、町民の活躍できる場がなくなっている。
及川幸子委員
委託業務の積算根拠に人件費相当が多く、見直すべきである。

賛成

菅原辰雄委員
細部には異論もあろうが、全体として見れば復興を完遂するために必要な予算である。
採決の結果、賛成9名、反対5名で原案のとおり可決されました。

A これまで139件、3億9000万円ほどの貸付があり、12月までに9625万円、24・6%が返還されている。貸付はこの3月で終了の予定だったが1年延長。

歳出

汚染牧草の一部を戸倉地区で先行処理へ

農林水産業費

Q (村岡賢一委員) 大盤平は牧草地である。環境に影響はないのか。牧草をすぐに動かす必要性があるのか。

A 牧草をずっと保管してある現状は打開しなければならぬ。説明会も開催しているが、今後も丁寧に説明を重ねる覚悟である。

交流人口拡大の旗振り役は

商工費

Q (今野雄紀委員) 交流人口拡大推進業務を観光協会に4200万円で委

託するが、町の職員はどう関わっていくのか。
A 丸投げはせずに、毎月、毎週のように情報交換をし、タッグを組んで事業を進めていく。

総務費

Q (及川幸子委員) 新規事業として結婚活動支援に予算計上されているが、地域事情をよく理解した事業内容になるのか。

A 入札により委託業者を決定する。セミナーを男女各1回開き、その後、受講者向けの婚活イベントを開催する予定。

登米市への通学バス路線、存続へ

Q (菅原辰雄委員) 三陸道経由のため、国道沿いの住人は利用しにくくなるのでは。

A 登米市から志津川高校への通学のために、帰りの便の時間も考える必要がある。次のダイヤ改正まで更に検討する。

学力向上によって地元高校の魅力化を

Q (今野雄紀委員) 志津川高校魅力化推進事業の内容は。

A アンケートの結果、学力向上を望む声が多く、学習支援をおこなっている。選ばれる高校となるため引き続き取り組む。

国民健康保険制度の今後の運営は

Q (星喜美男委員) 県による運営になったことで国保への繰り出し金が大幅減になっているが、高所得者の負担の軽減を考

えては。
A 国保加入者は低所得者が多いのが現状。意見は意見として受け止めて対応していきたい。

介護の現状の改善策は

Q (高橋兼次委員) 職員確保への補助は。

A 仮換地の際に説明はしているが、改善に向けて、今後も国と協議したい。

新規採用、事業所立上げに補助金を用意しているが、実績が少ないので内容の見直しも検討したい。

農林水産業費

Q (千葉伸孝委員) KOMOラムサル事業の内容は。

A 国内に50カ所登録湿地があるが、子どもの環境学習に取り組むところとの相互交流、人材育成が目的。シンポジウムも開催する予定。

国道45号沿いの排水問題

Q (佐藤正明委員) 国道沿いの低地部の建物から国道の側溝へ排水できない。対応は。

A 仮換地の際に説明はしているが、改善に向けて、今後も国と協議したい。

特別会計

健全な経営はできているか

病院事業

Q (千葉伸孝委員) 収支の今後の見直しは。

A マイナス3300万円の実質収支だったが、5000万円の一般会計からの繰入がありプラスに転じた。地域の医療体制を充実させることは必要。その上で、町の負担が少なくて済むよう努力する。



住民と議会との懇談会

素朴な疑問・要望、たくさんお聞きしました!

特集2

平成30年2月11日(日)、マチドマをはじめとする町内4会場で、1年ぶりの「住民と議会との懇談会」を開催しました。その中でいただいた貴重なご意見、ご要望のうち、町当局へ回答を求めたものについて、要約したものをお知らせいたします。
ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました!

町当局への質問・要望

【地域】コミュニティの再構築】

質問 復興住宅には高齢の入居者が多いが、緊急時に解錠しての対応はできるのか。また、コミュニティづくりや集会所がない団地への施設整備などについて、高齢者の話を聞く機会が必要だと思うが。

回答 【建設課・企画課・総務課】 人命にかかわる等一刻を争う場合において立ち入ることは想定されるが、独居世帯の方々には、鍵を適当と認められる方に預けてほしい。

また、行政区の再編等も視野に入れ、懇談会を開催している。意見を伺う場を

した後、牧草の播種、刈取りを行い、生えてくる牧草に放射性セシウムが移行していないことを確認する実証実験を実施する。今後の作業の状況や計測した放射性濃度等の情報については、住民説明会やHP等で広く公表していきたい。

【営農支援】 圃場整備事業が完了し引き渡された農地に対し、固定資産税の減免などの営農支援策はないか。

回答 【農林水産課】 被災農地等の固定資産税は、震災後減免していたが、現在は復旧事業が概ね完了し、課税する扱いとなる。

営農支援策としては、農地を集約・集積させる農地中間管理事業や、地域の共同活動を支援する多面的機能支払交付金等があり、被災農地でも活用できるので、導入に向けた働きかけを行う。

今後とも積極的に作りたいて考えているので、高齢者の方はもとより、住民皆様の参画をお願いしたい。

【観光振興】 田東山や戸倉神社、サンオーレそではま、さんさん商店街など町内の観光資源を活用するため、アクセス道路や案内看板などの再整備をおこない、観光交流の促進を図ってはどうか。

回答 【商工観光課】 サンオーレそではまや南三陸さんさん商店街への誘導については、周辺の道路整備に合わせ、順次案内標識が設置される予定だが、現状、志津川IC及び南三陸海岸IC、また、ハマー

【自然環境活用】 ネイチャーセンターやラムサール条約など、今後建設や認定が図られていく。ビクターセンターとの連携や、地元漁業者との情報交換・交流をしていくべきでは。

【農林水産課】 戸倉地区の自然環境や資源をいかし、地域エコツーリズムデザインを検討している。地区全体が自由研究のフィールドとなり、町全体が特色のある体験学習の場となるよう取り組む。

【地域交通】 宮交高速バスの停留所の変更によって、戸倉地区の住民から不便だという声が上がっている。宮交からは陳情は町を通してほしいと言われたが。

【企画課】 要望を伺い関係機関へつなぐ等、必要な対応をするので、担当である企画課まで、遠慮なく問い合わせ

【避難道整備】 港橋の復旧を断念したと聞くが、事故や災害時の避難経路を考えると、縦の道だけで、横の道がないのは不安を感じる。

回答 【企画課】 有事の際の避難については、原則として、徒歩により川を渡ることなく避難する方針であることから、八幡川西側地域の避難は、国道45号から志津川高校方面に誘導する。

【特定廃棄物の処理】 放射能を含んだ稲わらの保存、または処分は今後どうするのか。

回答 【農林水産課】 本町には汚染牧草が290・8tあり、現在、各畜産農家が一時保管している。このうち400ベクレル以下のもの276・8tについて、細断し、農地に混ぜて土壌還元する「すき込み処理」という手法で処理する方針。まず少量を処理

さらに、城内の主たる立ち寄り箇所において、観光客の安全確保を目的に、最寄り避難指定場所情報を盛り込んだPR看板等の設置を検討している。

【スクールバス】 歌津樋ノ口地区、港地区など、通学バスの利用が不便な箇所への対応してほしい。また、学校に近い家庭では、通学バスの利用はできないのか。

回答 【教育委員会】 スクールバスの乗降車箇所は、児童生徒の安全確保はもちろん、バスの円滑な運行等のため、学校及びバス事業者と協議の上で対応している。

今後は、インフラ整備等が完了したところから、震災前の通学方法に戻す。

【低地部の利活用】 高野会館周辺道路の利便性が悪い。補修や舗装はしてもらえないのか。

回答 【復興推進課】 災害復旧事業において整備を進めており、周辺との調整を図りながら、早期完成を目指している。現地においては今後も防

潮堤工事などが続くことから、災害復旧道路の完成まで、通行に支障がないよう維持補修を行う。

【通学路整備】 入谷小学校の通学路が狭いので、安全のために歩道の整備をしてほしい。

回答 【建設課】 歩道の整備には長期的な計画が必要となる。当面の間は、側溝へ蓋をかける等、歩道幅の確保を図る。

【橋梁整備】 鏡石橋について、大型バスやトラックの通行に支障がないよう交差点の改修をしてほしい。

回答 【建設課】 大型車両の通行に必要な幅員は確保しているが、本来の軌跡と外れた通行も考えられるため、ゼブラゾーンを設置し車両の誘導を図りたい。

ただきたい。

【スクールバス】

【特定廃棄物の処理】 放射能を含んだ稲わらの保存、または処分は今後どうするのか。

回答 【農林水産課】 本町には汚染牧草が290・8tあり、現在、各畜産農家が一時保管している。このうち400ベクレル以下のもの276・8tについて、細断し、農地に混ぜて土壌還元する「すき込み処理」という手法で処理する方針。まず少量を処理

さらに、城内の主たる立ち寄り箇所において、観光客の安全確保を目的に、最寄り避難指定場所情報を盛り込んだPR看板等の設置を検討している。

【スクールバス】 歌津樋ノ口地区、港地区など、通学バスの利用が不便な箇所への対応してほしい。また、学校に近い家庭では、通学バスの利用はできないのか。

回答 【教育委員会】 スクールバスの乗降車箇所は、児童生徒の安全確保はもちろん、バスの円滑な運行等のため、学校及びバス事業者と協議の上で対応している。

今後は、インフラ整備等が完了したところから、震災前の通学方法に戻す。

議案 審議

地域おこし協力隊、特別職に 6事業7名の方々が頑張っています

地域でビジネスを起こすため、町としても支援。地産地消推進、農林水産業の振興、地域資源の発掘、南三陸ブランド商品開発など、活動期間3年間、報酬一人最大年200万円+事業費200万円。

活発な議論が行なわれました！

消防団員、交通安全指導員、地域安全指導員

問 (倉橋誠司議員) 3年で成果を出せるか。分野は。 **答** (今野雄紀議員) 事業の評価は。定着率は。 **問** (後藤伸太郎議員) 町民と直接つながる機会を。町長も前面に。 **答** (今野雄紀議員) 事業の定着率は。定着率は。 **問** (今野雄紀議員) 事業の定着率は。定着率は。 **答** (今野雄紀議員) 事業の定着率は。定着率は。

予算総額422万円
年額報酬は抑え、出勤報酬に
火災等出勤報酬
4,000円/回

問 (高橋兼次議員) 定員7名か。他の事業に拡大は。移住定住に繋げて。 **答** (高橋兼次議員) 定員7名か。他の事業に拡大は。移住定住に繋げて。 **問** (高橋兼次議員) 定員7名か。他の事業に拡大は。移住定住に繋げて。 **答** (高橋兼次議員) 定員7名か。他の事業に拡大は。移住定住に繋げて。

問 (山内孝樹議員) 団員数と平均年齢は。後継者の育成を。 **答** (山内孝樹議員) 団員数と平均年齢は。後継者の育成を。 **問** (山内孝樹議員) 団員数と平均年齢は。後継者の育成を。 **答** (山内孝樹議員) 団員数と平均年齢は。後継者の育成を。

問 (及川幸子議員) 普通徴収保険料の滞納繰越がある。5月まで入る見込みがあるか、件数は。 **答** (及川幸子議員) 普通徴収保険料の滞納繰越がある。5月まで入る見込みがあるか、件数は。 **問** (及川幸子議員) 普通徴収保険料の滞納繰越がある。5月まで入る見込みがあるか、件数は。 **答** (及川幸子議員) 普通徴収保険料の滞納繰越がある。5月まで入る見込みがあるか、件数は。

問 (及川幸子議員) 夏祭りや花火大会の安全指導は。 **答** (及川幸子議員) 夏祭りや花火大会の安全指導は。 **問** (及川幸子議員) 夏祭りや花火大会の安全指導は。 **答** (及川幸子議員) 夏祭りや花火大会の安全指導は。



入谷地区のブドウ畑

中橋復旧工事締結 7億円

震災復興祈念公園内、八幡川に、長さ80m、パイプトラス鋼材橋げた、木床板使用

問 (後藤伸太郎議員) これで工事は前進し、平成32年2月完成となるのか。 **答** (後藤伸太郎議員) これで工事は前進し、平成32年2月完成となるのか。 **問** (後藤伸太郎議員) これで工事は前進し、平成32年2月完成となるのか。 **答** (後藤伸太郎議員) これで工事は前進し、平成32年2月完成となるのか。

平成29年度 最終補正 医療環境の改善へ一歩ずつ

補正 予算

一般会計

歳入

町税

問 (及川幸子議員) 普通徴収保険料の滞納繰越がある。5月まで入る見込みがあるか、件数は。 **答** (及川幸子議員) 普通徴収保険料の滞納繰越がある。5月まで入る見込みがあるか、件数は。 **問** (及川幸子議員) 普通徴収保険料の滞納繰越がある。5月まで入る見込みがあるか、件数は。 **答** (及川幸子議員) 普通徴収保険料の滞納繰越がある。5月まで入る見込みがあるか、件数は。

地方債

問 (千葉伸孝議員) 合併特別債が使える期限と残額は。 **答** (千葉伸孝議員) 合併特別債が使える期限と残額は。 **問** (千葉伸孝議員) 合併特別債が使える期限と残額は。 **答** (千葉伸孝議員) 合併特別債が使える期限と残額は。

歳出

総務費

問 (倉橋誠司議員) モアイ像設置工事とあるが、これが最終の工事か。 **答** (倉橋誠司議員) モアイ像設置工事とあるが、これが最終の工事か。 **問** (倉橋誠司議員) モアイ像設置工事とあるが、これが最終の工事か。 **答** (倉橋誠司議員) モアイ像設置工事とあるが、これが最終の工事か。

民生費

問 (後藤伸太郎議員) 児童福祉費の中の子ども子育て会議の委員報酬が減額だが、今年度の取り組みの中での報酬費は。 **答** (後藤伸太郎議員) 児童福祉費の中の子ども子育て会議の委員報酬が減額だが、今年度の取り組みの中での報酬費は。 **問** (後藤伸太郎議員) 児童福祉費の中の子ども子育て会議の委員報酬が減額だが、今年度の取り組みの中での報酬費は。 **答** (後藤伸太郎議員) 児童福祉費の中の子ども子育て会議の委員報酬が減額だが、今年度の取り組みの中での報酬費は。

商工費

問 (今野雄紀議員) 道の駅構想の中で収益が上がる要素があるのか。 **答** (今野雄紀議員) 道の駅構想の中で収益が上がる要素があるのか。 **問** (今野雄紀議員) 道の駅構想の中で収益が上がる要素があるのか。 **答** (今野雄紀議員) 道の駅構想の中で収益が上がる要素があるのか。

教育費

問 (今野雄紀議員) 歌津中学校の改修工事はなぜ今なのか。 **答** (今野雄紀議員) 歌津中学校の改修工事はなぜ今なのか。 **問** (今野雄紀議員) 歌津中学校の改修工事はなぜ今なのか。 **答** (今野雄紀議員) 歌津中学校の改修工事はなぜ今なのか。

特別会計

国民健康保険

問 (及川幸子議員) 健康診断等の受診状況は。 **答** (及川幸子議員) 健康診断等の受診状況は。 **問** (及川幸子議員) 健康診断等の受診状況は。 **答** (及川幸子議員) 健康診断等の受診状況は。

病院事業

問 (千葉伸孝議員) 収益が伸びており、赤字が圧縮傾向にあるが、今後の病院経営の方向性は。 **答** (千葉伸孝議員) 収益が伸びており、赤字が圧縮傾向にあるが、今後の病院経営の方向性は。 **問** (千葉伸孝議員) 収益が伸びており、赤字が圧縮傾向にあるが、今後の病院経営の方向性は。 **答** (千葉伸孝議員) 収益が伸びており、赤字が圧縮傾向にあるが、今後の病院経営の方向性は。



南三陸病院の透析施設

教育行政

子どものいじめ防止等の対策は

町長 いじめの根絶にむけ全町で取り組む



星 喜美男 議員

握をしているのか。
答(教育長)定期的アンケートや保護者からの情報、学校による観察等で数値を出している。

子ども同士、また教師と子どもの信頼関係の醸成に努める。
問 保護者や関係機関との連携は。
答(教育長)いじめ問題にかかわらず連携は重要だ。学校に来てもらうだけでなく、学校から一歩外に出て行くことも必要だ。



子供たちの活動を地区民が見守る

ここが聞きたい

3月定例議会では、10人の議員が20項目について一般質問を行い、各分野のさらなる復興について議論が展開されました。

一般質問

問 いじめはどの子どもにも、どの学校でも起こり得るものであり、また被害者にも加害者にもなり得る。本町児童生徒のいじめ認知状況は。
答(教育長)児童生徒1000人当たりの認知件数は、全国が23・9件、宮城県77・9件、本町は34・5件で、文科省の認知方法の変更により高い数値だが、以前よりしっかりと把握と対応ができています。

問 いじめの発見のきっかけは本人からの訴えが一番多い。相談の受け入れ環境が重要と思うが。
答(教育長)子どもの居場所づくりや相談体制の確立、また日記による生活の様子観察等で把握に努めている。
問 学校設置者として講ずるべき措置は。
答(町長)いじめ防止推進に係る体制、財政措置や地域社会へ向け、先頭に立ち啓発していく。

問 子どもたちが主体的に、いじめ問題に向き合うことが大事だ。ワークシヨップで、いじめゼロを目指す学校もあるが。
答(教育長)児童会、生徒会が中心になり、いじめゼロを目指す姿勢は重要で検討したい。
問 町内事業所を含む地域社会との連携、役割は。
答(教育長)子どもの成長には、学校、家庭、地域が一体となつて取り組む必要がある。地域で声をかけ皆で見守って欲しい。
問 ネットによるいじめの把握と対応は。
答(教育長)正しい利用の指導と、家庭との協力による網の目を張るような監視が必要と考える。

地域創生

賑わいと活力ある地域づくりの方向性と振興策は

町長 地域の社会資源と環境を活用し、情報発信や活発な町づくりを支援していく

問 ラムサール条約の「保全・再生」の観点から、県の重要干潟に指定されている折立漁港の整備は生態系に影響ないか。
答 ラムサールの基本的考えは、自然と人の共有であり、干潟に抵触しない工事計画を定めている。

問 「賢明な利用」の観点から、大変多くの潮干狩りファンが再開を待ち望んでいると思われるが、干潟に干渉しないのか。
答 十二分に配慮した形で、
問 「交流・学習」についてラムサールでは、広報、教育、参加、普及活動の項目を定めているが、これを担えるのはネイチャーセンターだと思う。
答 ネイチャーセンター準備室は、何名で運営に

問 戸倉公民館2階での再開の話は決定したのか。
答 再開にむけては、いろいろな経緯があった。その中で最良の場所として、戸倉公民館という話で、意思決定をした。
問 ネイチャーセンター準備室は、何名で運営に
あたっていているのか。
答 復興庁からの派遣職員1名であたっている。
問 町の職員が入らず、この1名で準備室の仕事は間に合っているのか。
答 震災前に当町の任期つき研究員としての経緯がある。南三陸町の自然形態には大変深い見識があり、その方をお願いして現在進めている。



神割崎のご来光

問 30年度事業の中において、地域資源プラットフォームを新設する。町として、連携活動に十分に取組んでいく。
問 神割崎キャンプ場に指定管理者をおいて、運営にあたっているが、実績評価などは十分なのか。
答 毎年度、経過後の評価もしており、次年度への取り組みに繋げている。

問 当該地区にとって神割崎は、昔からの重要な交流拠点であるが、昔の賑わいと比べ今はさびしい感じがする。歴史ある施設の今後のありかたをどう捉えているのか。
答 神割崎は旧志津川時代の観光発祥の地。だいぶ老朽化が進んでいるので、年次計画の中で整備が必要と考えている。

問 町民の多くがSNSを利用しており、「いいね」ボタンを押す習慣がついている。町への心の声・生の声に、「いいね」を上げて貰えない。それに対する町長の想いは。
答 フェイスブックにて毎日情報を上げています。正しい情報をしっかりと出し続ける事が重要と考えています。
問 職員の中や、町内各地で何かをしようと想っている人達が沢山いる。その気にさせるメッセージを。
答 震災後に改めて痛感したのは、こんなにも自分の町を思っ活動してくれている町民が多かったのかという事。私も心強いし、これからも大いに活躍して頂きたいと思っています。



須藤 清孝 議員



エサをついばむコクガン

拡幅整備

入谷小学校周辺道路の拡幅整備は

町長 避難場所に到達できる交通の確保は重要だと認識している



佐藤 雄一 議員

路用地を最大限活用する形で、一部区間改良をした。今後も容易にすれ違い通行ができるよう部分改良を進めていく。

問 学校新築の際、校庭を若干引つ込めるなどの計画は考えなかったのか。

答 あくまでも学校建物の建てかえである。敷地までの計画はなかった。今やれる事は確認ができればその中で最大限幅員を確保していきたいと考えている。

問 旧中学校の通学路についても同じ事がいえる。毎日子供達が登下校に使用している道路である。

答 これらの通学路の整備は、現在の通学路の水路にはふたがなかったと記憶している。現場の状況を確認して、危ない状況であれば対応したいと考えている。

問 大事な子供達であり安全に通学できるように早々に対応を。また、周辺道路の整備によって、旧体育館また施設の利活用がこれまで以上にできるのではないかと。

答 体育館については昨年3月に寄附いただいた。公募により現在は南三陸地域創生研究会という団体に貸し付けをし、その研究会で使用している。



元気に登校する子供たち

問 入谷小学校は、入谷地区全体の指定避難場所である。有事における緊急車両、人々が安心して通行できる道路が必要と考えるが。

答 有事の際、被災者の方々が緊急車両が円滑に学校に到達できる交通の確保が重要だと認識している。また、一方通行等の規制も有効手段では。

問 学校周辺道路の拡幅整備は。

答 車両のすれ違いに係る幅員確保は、既存の道

問 入谷は入谷公民館を中心には広い駐車場となりまなびや研修センター、前にはJA物流倉庫があり、鏡石橋の日常役割は大きいものがある。パイパスからの進入と公民館への右折が容易にできないか。

答 当該橋梁は国道であったところから岩沢地区方面の進行を優先し、川に対し斜橋という形で架設された。大型車両等の拡幅改良工事を実施した。

問 震災後、今まで大型車両が通るたびに皆さんが不便を感じてきた。隅切り拡幅工事は技術的課題もあつて施工が困難であるとの以前報告があつたが。

答 通行する車両によっては本来の軌跡から外れる形で通行していること、も考え、ゼブラゾーン等の区画線を設置して車両等の誘導を図りたい。

問 今後の対応は。

答 当該橋梁付近の改修工事は、町負担だけでは大きいものがある。県の事業として出てこないと思ふ。交通点改良工事も進入を可能にするためにも、国道398号改良整備促進期成同盟会活動とともに、事業の推進検討など県に要望をしているところである。

町道整備

地域生活の重要路線整備の考えは

町長 選択と集中を考え整備を検討する

問 現在、工事中の保呂毛橋と現道との取り付けが狭く交差できない状況。早期に改良を考えては。

答 地元の方々と協議し、条件が整えば改良の考えはある。

問 交通量の多い大船信倉線には応急的に側溝蓋を掛けた状態、整備計画を考えては。

答 整備路線になつているが財源の確保が厳しい。現在工事の3路線が終了する時期を考えている。財源確保が厳しいと

言うが、災害復旧費などは充てられないのか。

答 整備交付金で2路線、町費で1路線を実施、整備交付金も来年度からは更に10%位の町負担が多くなり難しい。

問 震災や復興工事で町の破損箇所が多くなる。整備の考えはあるのか。

答 復興計画期間内での完了を目指し工事を実施しているところであり、

破損した箇所は、国や県を含め補修・修繕を行う。

問 震災から7年、ガードレールなどが未だ復旧していない場所があり危険だ。早期対応を。

答 現地を確認し、検討していきたい。

問 道路舗装の耐久年数を過ぎている路線が多く凹凸が激しい。年間の復旧計画を立て管理しては。

答 路面状況は常に把握

漁港施設

漁港施設の現状について

町長 利便性や安全性の確保に努める

問 震災後、漁港施設が隆起し、作業の不便な状況が続いている。昇降施設設置などの状況は。

答 利用者からの要望を受け、復旧や改良工事に際し岸壁切り下げ9漁港、タラップ設置は14漁港19箇所、今後のタラップ設置計画は6漁港16箇所を予定している。

問 漁業作業の安全を確保するために物揚げ場の車止め、船揚げ場の滑り止め材設置の考えはあるか。

答 管理者として伐採は支障ないが、全て単費での負担になり難しい。

問 震災後、漁港施設が隆起し、作業の不便な状況が続いている。昇降施設設置などの状況は。

答 利用者からの要望を受け、復旧や改良工事に際し岸壁切り下げ9漁港、タラップ設置は14漁港19箇所、今後のタラップ設置計画は6漁港16箇所を予定している。

問 漁業者の方々から意見を伺い、設置すべきところは設置に努める。

問 各漁港の防潮堤工事が本格的に始まる。用地確保の現状は。

答 整備を進める事業用地全体は116,870㎡であり、半分は確保済みである。

問 工事は32年度までの計画だが、1年以内に用地の確保はできるのか。

答 今年の夏ごろを目標に、努力しているところである。

問 漁業者の方々から意見を伺い、計画変更はないものと考えているが、想定外の見直しがある場合は協議を迅速に進め、進捗に影響が出ないように考えていきたい。



防潮堤工事が急ピッチで進む



佐藤 正明 議員

問 交通量の多い大船信倉線には応急的に側溝蓋を掛けた状態、整備計画を考えては。

答 整備路線になつているが財源の確保が厳しい。現在工事の3路線が終了する時期を考えている。財源確保が厳しいと

言うが、災害復旧費などは充てられないのか。

答 整備交付金で2路線、町費で1路線を実施、整備交付金も来年度からは更に10%位の町負担が多くなり難しい。

問 震災や復興工事で町の破損箇所が多くなる。整備の考えはあるのか。

答 復興計画期間内での完了を目指し工事を実施しているところであり、

破損した箇所は、国や県を含め補修・修繕を行う。

問 震災から7年、ガードレールなどが未だ復旧していない場所があり危険だ。早期対応を。

答 現地を確認し、検討していきたい。

問 道路舗装の耐久年数を過ぎている路線が多く凹凸が激しい。年間の復旧計画を立て管理しては。

答 路面状況は常に把握



被災したままの町道

人口問題

交流人口の拡大について

町長 ネットワーク構築を図っていききたい



倉橋 誠司 議員

37年度に日帰り客123万人が必要となり目標としたい。

外国人旅行者の人数は。

台湾を中心に平成27年度より教育旅行の誘致とインターシップの受け入れを行っている、平成28年度は665人、平成29年度は600人弱、目標は2千人なので、関係者の機運を盛り上げた。

定住人口を増やすのが最も大事だが、まずは交流人口を増やすべきである。今までの交流人口の推移は。

震災前平成22年度の交流人口は108万人（うち宿泊客者数は24万人）、平成24年度は89万人（同20万人）まで回復、平成29年度は集計中だが着実に増加している。

平成30年度の目標は、人口減少による経済の影響を補填するには90万人、総合計画では平成

今後の施策は、さらなる地域コンテンツの磨き上げや開発、おもてなし力の向上、リーダーの確保が必要であり、観光地域づくり研究会を立ち上げ、地域資源の再確認と商品化等の取り組みを通し、担い手



外国人誘致を

一般質問

Q & A

公共交通

デマンドタクシーの検討は

町長 全国的にまだ根付いていない

BRTを背骨に町民バスを肋骨にということだが、デマンドタクシーの運行を検討をしてみたい。

効率性利便性は高いようだが、全国的に見て

職員人事

人事異動の決め方の基準は

町長 行政サービスの低下のないように

新年度を迎えるにあたり、人事異動の決め方の基準を聞きたい。

これまでの業務経歴や今後の育成方針等を総合的に考えて判断する。

若年層は能力をつけるためさまざまな部署で一定程度の経験を積ませ、それら経験をもとに適性を見出して配置を行っている。

配置人員数の決め方、次年度の業務量や希望する配置人員数を所属長よりヒヤリングし、内容を参考にしながら決定している。



南三陸町役場

職員改革

震災後の地元職員と派遣職員の活動状況は

町長 多様化、複雑化に対応できる職員育成を図る

人員確保は。

復旧、復興の行政事業に即した、派遣職員と町任期付職員採用や、再任用をしている。

心のケアは。

23年度からメンタルヘルス対策をしてきた。24年度からは精神保健福祉士による悩み相談の対策を講じている。

職員の町民への奉仕精神の育成と指導は。

28年度には職務規律保持等の研修会を行なった。今年度は、不適正な



庁舎玄関から災害公営住宅を望む

事務処理の発生防止と、職務に係る規律の確保に注意喚起している。

職員の現状と問題対策は。

復興事業の進捗に合わせ、人数を縮小していく。住民サービスを低下させないよう、今の時点から業務量の確認をしている。現在の職員数は。

正規職員200名、再任用13名、派遣職員81名、任期付き職員は18名など合わせて319名。

病院職員は。110名で平成30年度は対応。

町民の意見や声を吸い上げる目安箱の設置を。ネットなどで町民の方の政策的な問題や意見

観光開発

保呂毛地区の道路整備と管理委託の謝金増額を

町長 地域の皆様と協議し、謝金は増額計上した

保呂毛線の今後は。保呂毛橋は3月中旬に工事完了となる。町道保呂毛線については、昨年の6月に側溝やガードレールの災害復旧工事は完了している。

28年度に護岸工事を実施している。今後の道路整備は地域の皆さんと協議していく。

保呂毛神社・森林公園内の維持管理業務や、保呂羽山山頂遊歩道の草刈り、「正鶴の森」のトイレ清掃の管理委託謝金が昨年5万円と、半額に減額された。増額の考

保呂羽山・保呂羽神社の遺跡・神社は文化遺産の場でもあり、※唐桑オルレのような観光開発を今から一歩ずつ進める



現在の町道保呂毛線

いろいろな検討したい。

※唐桑オルレ：森や海岸など自然豊かな小道を歩く韓国版トレッキングコース（オルレ）として、気仙沼市唐桑町の国際コースが昨年11月認定されている。

一般質問

Q & A

体育振興

スポーツ振興に力を入れよ

町長 町民運動会など民間の動きを後押しする



後藤 伸太郎 議員

問 2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることもあり、全国的にスポーツ振興の機運が高まっている。町でも関連イベントを企画しては。

と校庭を開放しているが、館はずっと放置してある利用団体は増加している。が、今後何かに利用する校庭にある仮設住宅は、平成30年度にすべて解体される見通し。松原グラウンドは平成30年度末までに整備を完了したい。沼田地区のテニスコートは、駐車場などへの転用も検討している。旧戸倉中学校の体育

答 (教育長) 町内の小学校各1校でスポーツ庁の事業を引き受け、メダリストをお呼びしたりといった、機運を高める取り組みをしている。町内のスポーツ施設の復旧状況は。各小中学校の体育館



夏の甲子園予選がここで

問 旧戸倉中学校の体育

答 今年の全国高校野球大会の県予選が、4試合おこなわれる。駐車場やサブグラウンド、応援スタンドなど更なる施設整備も今後必要だが、広く情報発信する絶好の機会でもあり、ハマレ歌津への誘客など、地域振興にも大きく寄与するものと思う。問 おらほのまちづくり補助金に、スポーツ部門を作ってはどうか。答 今後検討したい。問 アルティメット、水風戦など、ニユースポーツの振興策は。答 担当は生涯学習課なので、相談があれば応じたい。問 震災前におこなわれていた町民運動会を復活開催してはどうか。答 個人的には大賛成である。志津川、戸倉地区では平成17年度、入谷地区では震災前までおこなわれていたが、参加者集めなどに多くの苦労があった。どのようなやり方が良いか検討したい。(教育長) スポーツを通じて、地域が一体となるような取り組みは必要だと思う。問 バイサイドマラソンの開催は。答 (教育長) 被災した沿岸部の復興を確かめながら健康づくりをおこなうことに、一定の意義はあると思う。道路の状況や近隣の大会開催の動向を見ながら検討したい。問 2020年は平成32年であり、集中復興期間も最終盤の年度である。そのタイミングを逃さず、復興の状況や町民のエネルギーを発信しようという民間の動きを、ぜひ支援してもらいたい。答 そういう場づくりは大切だと思う。町民のみなさんが先頭に立って開催したいというならば、町として、一も二もなく応援したい。



ニュースポーツにも注目!



震災遺構

高野会館と防災庁舎を世界遺産に

町長 登録を申請する考えはない

問 防災庁舎はいつ協議決定になるのか。答 教訓を未来に語り継ぐことが責務であり、復興事業完了後にしたい。問 平成7年に防災庁舎が建設された当時、町長は議員という立場であったが、賛否どちらに掲げたのか。また議論されたのか。答 自分は今くろしおグラウンドが良いと話したが、あの場所になった。結果としてどちらも被災した。賛否が分かれたとい

問 2つを震災遺構として、世界遺産に登録し国管理にしてはどうか。答 突然のことなので、今はそれを申請する考えはない。問 ネイチャーセンターを戸倉公民館に移設する

問 国と協議する前提の額で、決定ではない。答 国から1億8000万円の予算が付いたと聞いたが。問 国道45号が復旧され

問 国道そばの埋め立て地に建設したので、地盤にパイプを埋め込む工事、1800万円分が余計にかかったのではないかと。答 場所の選定にあたっては、災害発生時でも安全性が確保される町有地であることから決定した。工事費については、国の積算基準に基づいた妥当な金額である。



南三陸町学校給食センター

公共施設

新給食センターの場所に問題はないか

町長 安全が確保される町有地で決定した

問 3月末に水尻橋から汐見橋までが完成すると緩和されると思う。問 非常時の避難路として、港橋と付近の道路の復旧が必要では。答 道路が1本か2本かの違いで最終的には国道に出ざるを得ないので、大きな問題にならない。

問 3月末に水尻橋から汐見橋までが完成すると緩和されると思う。問 非常時の避難路として、港橋と付近の道路の復旧が必要では。答 道路が1本か2本かの違いで最終的には国道に出ざるを得ないので、大きな問題にならない。

問 3月末に水尻橋から汐見橋までが完成すると緩和されると思う。問 非常時の避難路として、港橋と付近の道路の復旧が必要では。答 道路が1本か2本かの違いで最終的には国道に出ざるを得ないので、大きな問題にならない。

問 3月末に水尻橋から汐見橋までが完成すると緩和されると思う。問 非常時の避難路として、港橋と付近の道路の復旧が必要では。答 道路が1本か2本かの違いで最終的には国道に出ざるを得ないので、大きな問題にならない。

観光振興

歌津魚竜館(旧水産振興センター)の復旧を考えよ

町長 事業対象外だが、展示施設は整備を検討

問 三陸道延伸による観光客誘致のため、道の駅整備や歌津魚竜館(旧水産振興センター)の復旧を考えては。答 新たな資源開発や情報発信の強化など、おも

てなしの向上と誘致の拡大を図りたい。また、魚竜館(旧水産振興センター)は国の災害復旧事業の対象外となり難しいが、化石展示施設整備は検討を進めている。



及川 幸子 議員

問 新たな資源開発や情報発信の強化など、おも



高野会館

FM活用で行政・観光情報を

町長 情報ツールは多い方がいい



今野 雄紀 議員

問 「みなさんぼ」は外に向けての情報発信だったのではないのか。

答 本町の地域情報発信事業は、町内・仙台圏を中心

問 FM局へ1170万円、地元へ人件費分として700万円

答 こちらのほうでも調べさせてもらう。

問 聴取率の測定はしていないが、毎月十数件ほどメッセージが寄せられ

問 とめFMだと、南三陸町の天気情報等流れている。公営住宅の一人暮

問 登米市や石巻市からの通勤している人数は。平成27年度の調査では1716人となっていた。

問 通勤の9割がFMを聴いているという分析結果があるが。

答 選局は、基本的にFM仙台かTBCかNHKが8割9割ではないか。

問 波伝谷のテレビ塔と田東山に光回線が通っており、アンテナ50万円ぐらいと送信機100万円

問 こちらのほうでも調べさせてもらう。

問 とめFMだと、南三陸町の天気情報等流れている。公営住宅の一人暮



工夫して情報発信を

問 こちらのほうでも調べさせてもらう。

問 とめFMだと、南三陸町の天気情報等流れている。公営住宅の一人暮

滞在型観光

公共入浴施設で民泊・農泊の推進を

町長 現時点では消極的な立場



問 これからは、滞在型の観光をめざす必要があり、通過型・滞在型で集客を望めるのは、公共の公衆浴場ではないか。

問 当初の消極的という答弁から、少しは上向きになったか。

問 再生可能エネルギーとしてFSCの間伐材を利用し、元気な高齢の方

問 小学校での英語教育の必修化に指導力の向上へ努めている。各小学校においては

問 他自治体のように

外国語義務化

小学校での英語教育への対応・準備は

教育長 平成32年度へ向けてハード面・ソフト面の対策を構築している。

問 小学校での外国語教育義務化へ向けての取り組み状況は。

問 県主催の外国語活動指導力向上研修会などに教師を参加させ、3・4年生からの外国語活動の

問 英語に慣れ親しむという意味でALTを保育所等でも活用しては。管轄が違うので、保健福祉との連携も今後必要になっていく。

地方創生

政策・事業の見直しは

町長 婚活支援を盛り込んだ「改定の目玉だ」

問 地方創生5年計画の3年経過したが、取り組みの現状と課題は。

答 総合戦略を策定、移住促進窓口の設置、町のブランド育成と管理

問 総合戦略を策定、移住促進窓口の設置、町のブランド育成と管理

問 総合戦略を策定、移住促進窓口の設置、町のブランド育成と管理

問 事業の見直しは。

答 指数、目標値を見直し、婚活支援を盛り込んだ改定の目玉である。

問 プラットフォームの今後の考えは。

答 町と民間有識者で2年間議論を重ねてきて4月頃一般社団法人として

問 婚活イベント開催後に男女別にスキルアップセミナーなどを継続的に

問 婚活イベント開催後に男女別にスキルアップセミナーなどを継続的に

問 婚活イベント開催後に男女別にスキルアップセミナーなどを継続的に

問 婚活イベント開催後に男女別にスキルアップセミナーなどを継続的に

問 婚活イベント開催後に男女別にスキルアップセミナーなどを継続的に

問 婚活イベント開催後に男女別にスキルアップセミナーなどを継続的に

問 婚活イベント開催後に男女別にスキルアップセミナーなどを継続的に

問 婚活イベント開催後に男女別にスキルアップセミナーなどを継続的に

問 婚活イベント開催後に男女別にスキルアップセミナーなどを継続的に

一般質問



旧市街地の活用を

※合計特殊出生率：人口統計上の指標で、一人の女性が出産可能とされる15歳～49歳までに産む子どもの数の平均を示す。

問 旧市街地の嵩上げ用

問 旧市街地の嵩上げ用

問 旧市街地の嵩上げ用

問 旧市街地の嵩上げ用

問 旧市街地の嵩上げ用

土地利用

校舎の一部を公民館に

町長 当面空き教室は出ない



入谷公民館

問 旧市街地の嵩上げ用

問 旧市街地の嵩上げ用

問 旧市街地の嵩上げ用

問 旧市街地の嵩上げ用

問 旧市街地の嵩上げ用

問 旧市街地の嵩上げ用

Q&A

総務 常任委員会

「創造的復興はまさにこれから」

調査の概要

平成30年1月26日、震災後に取得した土地について適正な維持管理がおこなわれているか、町管財課職員から聞き取り調査をおこなった。

震災前に対し、町有地は約345万㎡、率にして12%以上増加している。低地部の90haほどの町有地のうち、利用する計画があるのは40haほどである。

また、防災集団移転促進団地

では、27団地、827区画が整備されたが、1割に当たる80以上の区画が空き区画となっている。分譲開始の頃は賃貸より売上の希望者が多かったが、時間の経過とともにその割合は逆転した。

調査の結果

復興事業によって、高台、低地部ともに、町有の土地、財産は大きく膨張し、その適正な維持管理が求められている。それだけではなく、効果的な活用方法を編み出し、後世につけを回さない財政運営も必要である。これまでの復興事業も誰も経験したことのないものであったが、社会情勢が厳しく、急激に変化

していく中でのこれからの町政運営も、まさしく未知の領域のものであると言えるだろう。

だからこそ、足元を見つめ、町民の声をよく聴きながら進んで行かなければならない。

高台、低地部ともに、計画的かつ継続的な土地活用が図られるよう、今後も検討を重ねていく必要がある。



西団地の空き区画

議会広報 特別委員会

「多くの方に読まれるように」

調査の概要

平成30年2月14日、埼玉県小川町議会の議会広報発行特別委員会を視察し、議会広報の編集の仕組みと紙面づくりの考え方について意見交換をおこなった。

小川町議会広報は、議会広報全国コンクールにおいて平成28年度に奨励賞、平成29年度に優良賞（第5位）を受賞している。若者や子育て世代をターゲットにした紙面の大幅リニューアルが評価されたもので、そ

の取り組みは「挑戦」の域を超えた『冒険』であるとしている。

調査の結果

地域名産の和紙の画像を使用した表紙に始まり、写真やイラスト、漫画的な表現も取り込んだ見やすい紙面、ユニバーサルデザインフォントの使用、徹底した用語解説、欄外にある「議会へのヒトコト」コーナーなどによる町民参加の機会増加など、読みづらさ、堅苦しさをどこま

でも排除していこうという編集方針は、大いに刺激を受けるとともに参考になった。

議会における広報・広聴活動のメインとなっている議会広報を充実させることは、開かれた議会の実現、ひいては町全体の活性化にも重要であることから、今回の視察研修を、今後の議会

広報の編集に活かしていく必要がある。



小川町議会にて

議会活性化 特別委員会

「先進地に学び、開かれた議会へ」

調査の結果

平成30年1月30日・31日、京都府亀岡市議会にて事業評価制度について、兵庫県篠山市議会にてタブレット端末導入についてそれぞれ視察し、両議会議員各位と意見交換をおこなった。

亀岡市議会では、平成22年度から事務事業評価を実施し、決算審査の中で、いくつか抽出した事業の経済性や効率性、有効性などを議論、評価している。その結果を次の予算編成に活かし、より効果のある市民福祉の

向上に役立てている。また、通年議会への移行も議論されている。

篠山市議会においては、ICT化を推進するため平成26年度末にタブレット端末の運用を開始した。情報共有のスピード

アップによる効果的・効率的な議会運営、議員活動の充実、ペーパーレス化による環境負荷の低減などの効果を上げている。

当町議会は震災後7年間、これまで経験のない議会運営の中で活動してきたが、最終局面を迎えようとしている復興事業後の新たな議会の姿を考えなければならない。先進地に学び、目まぐるしく進化し続ける社会

に対応していくことが議会に求められている。今後も引き続き、議員一人ひとりが活性化という言葉を理解し、住民のための開

かれた議会を目指し、議会改革や活性化に向けて取り組んでいくものである。



亀岡市議会にて

議会へのお願い

請願書

請願2の1

「高野会館」を震災遺構として保存することに関する請願書

【請願趣旨】

今日まで30万人以上の人に東日本大震災の教訓を伝えてきた「高野会館」を震災遺構として、復興祈念公園エリアの中に組み入れ、保存整備するよう請願します。

請願者 株式会社阿部長商店南三陸ホテル観洋 代表取締役副社長 阿部 隆二郎

紹介議員 千葉 伸孝 及川 幸子 倉橋 誠司 佐藤 雄一

この請願は東日本大震災対策特別委員会へ付託されました。

陳情書

陳情2の1

「災害公営住宅（復興公営住宅）」家賃軽減ならびに被災者医療等一部負担金免除の継続・復活を求める陳情書

【陳情要旨】

- 「東日本大震災特別家賃低減事業」の対象となっている世帯への家賃軽減の継続、「収入超過者」への家賃減免を行うとともに、宮城県に対して実施に向けて必要な調整をされるよう働きかけることを求めます。
- 被災者医療等の一部負担金免除措置を廃止した市町村には、改めて免除措置の復活を求めるとともに、宮城県後期高齢者医療広域連合及び宮城県に対しても、強く働きかけてください。

陳情者 東日本大震災復興・復興支援みやぎ県民センター 綱島 不二雄

この陳情は東日本大震災対策特別委員会へ付託されました。

陳情2の2

各種業務を地元事業所へ優先発注を求める陳情書

【陳情要旨】

町内の各種事業所が製造・加工・販売できる業務については、町の業務の町外流出を極力抑え、可能な限り、地元事業所に優先的かつ公平な発注をお願いします。

陳情者 宮城県印刷工業組合 理事長 藤井 治夫

この陳情は採択され、町に対して送付しました。

議員提出議案

発議第1号 介護福祉施策の充実を求める意見書について

～ 前文省略 ～

- 介護従事者の処遇及び労働環境の改善を進め、介護事業の健全な運営が成り立つよう基本報酬の底上げを図ること。
 - 介護保険料の引き上げを抑制するため、介護保険制度における国の負担割合を引き上げること。
 - 介護サービスを必要とする人が、安心してサービスを受けられる制度改定を行うこと。
 - 社会保障充実のため、安定的な財源を確保すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

意見書送付先 内閣総理大臣・財務大臣・厚生労働大臣・衆議院議長・参議院議長

上記の発議は可決され、意見書を提出しました。

- 「給与所得等に係る市町村民税・道府県民税特別徴収税額の決定・変更通知書（特別徴収義務者用）」マイナンバー記載の中止を求める陳情書は、議員へ配布しました。

2月臨時議会提出 議案一覧 12件

(条例改正3件、工事契約9件)

議案第1号 一般職の採用並びに給与及び勤務時間の特例に関する条例改正。→P22	議案第7号 細浦漁港海岸防潮堤災害復旧工事を共同企業体(株式会社渡辺土建と株式会社佐千代組)と28億4,040万円で契約。
議案第2号 特別職の職員で常勤のもの給与増額に関する条例改正。→P22	議案第8号 折立漁港海岸防潮堤右岸災害復旧工事を共同企業体(株式会社只野建設と株式会社サトー工務店)と18億3,600万円で契約。
議案第3号 議会議員の期末手当増額に関する条例改正。→P22	議案第9号 滝浜漁港海岸防潮堤災害復旧工事を共同企業体(株式会社浅野工務店と株式会社沼正工務店)と8億9,640万円で契約。
議案第4号 町道蒲の沢2号線ほか1路線道路改良工事を株式会社高野組と7,938万円で契約。	議案第10号 石浜漁港海岸防潮堤設置工事を株式会社阿部伊組と4億0,608万円で契約。
議案第5号 田の浦漁港海岸防潮堤災害復旧工事を株式会社阿部伊組と19億6,020万円で契約。	議案第11号 津の宮漁港海岸防潮堤災害復旧工事を共同企業体(株式会社只野建設と株式会社須藤建設)と5億2,596万円で契約。
議案第6号 寄木漁港海岸防潮堤災害復旧工事を山庄建設株式会社と7億9,704万円で契約。	議案第12号 松原公園災害復旧工事をむつみ造園土木株式会社仙台支店と2億7,864万円で契約。→P22

3月定例議会提出 議案一覧 52件

(条例14件、工事契約15件、町道の変更1件、損害賠償2件、補正予算9件、当初予算10件、発議1件)

議案第13号 地域経済牽引事業の促進・発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例制定。	議案第35号 中橋上部工事を矢田工業株式会社仙台支店と7億0,632万円で契約。→P6
議案第14号 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定。	議案第36号 田の浦漁港中田浦船揚場復旧工事を1億3,176万円から3,215万3,760円の減額。株式会社遠藤組。
議案第15号 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例改正。地域おこし協力隊の報酬を月額16万6,000円とするもの。→P6	議案第37号 ばなな漁港防波堤護岸船揚場復旧工事を4億8,213万8,000円から4,065万3,360円の減額。株式会社阿部伊組。
議案第16号 職員の特殊勤務手当に関する条例改正。夜間看護業務を3,300円から6,800円とするもの。→P6	議案第38号 竹川原橋橋梁災害復旧工事を5億3,811万7,560円から136万1,880円の増額。阿部藤・サトー・沼正特定建設工事共同企業体。
議案第17号 交通安全指導員消防団及び地域安全指導員の報酬等の条例改正。→P6	議案第39号 保呂毛橋橋梁災害復旧工事を4億3,944万1,200円から658万6,920円の増額。サトー・阿部藤・沼正共同企業体。
議案第18号 個人情報保護条例の改正。国の制度に準じ個人情報の定義の明確化を図るためのもの。	議案第40号 町道平線ほか1路線道路改良工事を1億2,960万円から3,874万5,000円の増額。株式会社遠藤組。
議案第19号 特定の個人を識別するための個人番号の利用等に関する条例改正。行政手続きにおける個人を識別するためのもの。	議案第41号 水稲乾燥調整施設建設工事(廻館地区)を5,605万2,000円から379万9,440円の増額。株式会社サトー工務店。
議案第20号 国民健康保険条例及び後期高齢者医療に関する条例改正。	議案第42号 町道路線の変更。浪板線を港川災害復旧工事に伴い仮設迂回路の切り直しをするため。
議案第21号 介護保険条例改正。平成30～32年度までの保険料率を定めるためのもの。	議案第43号 損害賠償の額を決定し、66,674円で和解。
議案第22号 地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の改正。介護保険法の改正などに伴うもの。	議案第44号 損害賠償の額を決定し、和解した旨、議会の議決を受けるもの。職員の公用車による事故8件、町管理の道路の民間事故8件。
議案第23号 地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びにサービスに係る支援の方法に関する基準を定める条例の改正。介護保険法の改正などに伴うもの。	議案第45号 平成29年度南三陸町一般会計補正予算
議案第24号 指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに事業の人員、運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正。	議案第46号 平成29年度南三陸町国民健康保険特別会計補正予算
議案第25号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正。	議案第47号 平成29年度南三陸町後期高齢者医療特別会計補正予算
議案第26号 心身障害児就学指導委員会条例の改正。	議案第48号 平成29年度南三陸町介護保険特別会計補正予算
議案第27号 稲淵漁港海岸防潮堤設置等工事を山庄建設株式会社と1億8,900万円で契約。	議案第49号 平成29年度南三陸町市場事業特別会計補正予算
議案第28号 館浜漁港海岸防潮堤設置等工事を山庄建設株式会社と3億8,880万円で契約。	議案第50号 平成29年度南三陸町漁業集落排水事業特別会計補正予算
議案第29号 水戸辺漁港海岸防潮堤災害復旧等工事を株式会社浅野工務店と3億2,400万円で契約。	議案第51号 平成29年度南三陸町公共下水道事業特別会計補正予算
議案第30号 ばなな漁港海岸防潮堤災害復旧等工事を株式会社阿部伊組と24億8,400万円で契約。	議案第52号 平成29年度南三陸町水道事業会計補正予算
議案第31号 葦の浜漁港海岸防潮堤災害復旧等工事を共同企業体(株式会社阿部伊組と山庄建設株式会社)と18億6,840万円で契約。	議案第53号 平成29年度南三陸町病院事業会計補正予算
議案第32号 清水漁港海岸防潮堤災害復旧等工事を共同企業体(株式会社佐々木建設と阿部藤建設株式会社)と15億4,980万円で契約。	議案第54号 平成30年度南三陸町一般会計予算
議案第33号 荒砥漁港海岸防潮堤災害復旧等工事を共同企業体(株式会社太田組と株式会社遠藤組)と14億6,340万円で契約。	議案第55号 平成30年度南三陸町国民健康保険特別会計予算
議案第34号 折立漁港海岸防潮堤左岸災害復旧等工事を共同企業体(株式会社只野組と株式会社丸正工業)と30億6,720万円で契約。	議案第56号 平成30年度南三陸町後期高齢者医療特別会計予算
	議案第57号 平成30年度南三陸町介護保険特別会計予算
	議案第58号 平成30年度南三陸町市場事業特別会計予算
	議案第59号 平成30年度南三陸町漁業集落排水事業特別会計予算
	議案第60号 平成30年度南三陸町公共下水道事業特別会計予算
	議案第61号 平成30年度南三陸町水道事業会計予算
	議案第62号 平成30年度南三陸町病院事業会計予算
	議案第63号 平成30年度南三陸町訪問看護ステーション事業会計予算
	発議第1号 介護福祉施策の充実を求める意見書を提出

町一般職及び町長等の給与改正可決 議員報酬改正案は満場一致で否決

行政職 227 名 医療職 104 名 労務職 17 名 合計 348 名
給与 400 円 (0.2%) の引き上げ、賞与 0.1 ヶ月分引き上げ年 4.4 ヶ月へ

人事院勧告に基づく

国家公務員給与改定 に伴う改正案です。

問 (及川幸子議員) 勤務成績の評価の基準は。 **答** 勤務評定制度導入途中である、上司からの評価が現状、まだ十分ではない。

問 (倉橋誠司議員) 課税誤り、町営住宅家賃未請求問題もあった、慎重になるべきではないか。 **答** 職員全体の士気を上げるべき、失態に対しては別に処分を行った。

問 (千葉伸孝議員) タイムカードなしで、管理できるのか。何を根拠に勤勉なのか。 **答** 果たすべき事を果たす。職員の方で復旧復興進んでいる。

討論

議員報酬について
及川幸子議員
町民に寄り添いたい。
後藤伸太郎議員
報酬は働いた対価に対して支払われるもの。
千葉伸孝議員
議員の成り手がいない、自分から身を律したい。
今野雄紀議員
チェック機能という議員の責務を果たせなかった。辞退したい。

反対

討論

町長等について
千葉伸孝議員
課税誤り、寄宿舎アパート問題などで、改正するのはいかなるものか。

反対

職員等一般職は、全員異議なしで可決。
町長等特別職は、賛成 8 人 反対 7 人で可決。
議員報酬は、満場一致で否決。

松原グラウンド整備計画発表 2億8000万円

八幡川沿い志津川中学校近くに、駐車場 70 台分、遊具広場

野球場両翼 90 m
300 m 陸上
競技場

問 (千葉伸孝議員) 計画の趣旨は。利用料は。 **答** 災害復旧事業の都市公園であり、以前よりは広くなる。利用料は今後検討する。

問 (菅原辰雄議員) 四阿(あずまや)やトイレなど付帯工事を足せないか。グラウンドゴルフは。 **答** 遊具広場、トイレ有り、グラウンドゴルフは陸上競技場フィールド(芝生)で利用も可、財源の許す限りその他の付帯工事も検討する。

問 (今野雄紀議員) 松は植えるのか。ドッグラン、ボルダリング壁は。遊具は。 **答** 樹木の種類は未決定だが寄付される樹木が植えられる。ドッグランは考えてない、幅広い子供が利用できる遊具で考えている。

東日本大震災対策特別委員会 高台団地への寄宿舎建設見合わせ

被災した住民が終の棲家にと自立再建を果たし、安堵も束の間、志津川東・中央団地に民間アパート・従業員宿舎建設を知らされ、驚いた住民が町に説明を求め、抗議をするなどと混乱した。結果、全ての団地で地域の理解が得られるまで、従業員宿舎やアパート用地の公募を「見合わせる」ことを決定した。この一連の動向を重視した議会が町に対して説明を求めた。

質疑

問 (千葉伸孝委員) ①なぜ一般開放をしたのか。②アパート用地等の公募の前に説明会を開き、理解を得るべきではなかったか。③住民への対応と意見は。 **答** ①町内に 28 団地を造成した。費用は 1 区画平均 4500 万円、当初約 100 区画、45 億円分が空いていた。空き区画では税収はなく維持管理費などの問題が発生する。土地の処分は復興に役立つ場合は良く、町の課題である水産業の人材確保に繋げるため。

②他の自治体でも同様の問題で説明をせず進めていた。 **答** ③説明不足を指摘された 3 回説明会を開催し、130 名が参加した。アパート・寄宿舎建設を白紙に戻せ、被災者

を白紙に戻せ、被災者

質疑

問 (倉橋誠司委員) 人材不足は全ての産業共通だと思いがなぜ水産業に絞ったのか。 **答** 戦略的に水産関係の早期再建に多額の復興交付金を活用し、販路確保の助成や早期街開きエリアの造成、区画整理などで水産業を入れていく。

問 (須藤清孝委員) 公募を見合わせたが、アパート等の建設は団地ごとに理解を得られれば建設できるのか。 **答** 団地として建設を了解すれば建設用地として募集出来る。

問 (後藤伸太郎委員) 住民への説明など手順を踏まず、勝手に進めたら摩擦が起きるとは思わなかったのか。こじれた関係修復への考えは。 **答** 東・中央の大きな

を白紙に戻せ、被災者

議会のうごき



宮城県議会大震災復興調査特別委員会との意見交換

平成30年2月19日、宮城県議会大震災復興調査特別委員会が復興の進捗状況と課題等を調査するため来町しました。当議会では、町が復興するために課題となっていることや国に対する要望など、意見交換会を通じて伝えました。

わたしの意見 あなたの提言

皆さんの考えをお聞かせください。

「これから!!」



長清水 佐々木 淳子さん

二〇一一年三月一日。激しい揺れ、不気味な音と同時に、真つ黒な壁が押し寄せてきた。その時、これからの未来が奪われた気がした。家も服も食べ物もない状況で、津波から逃れた人たちとの再会に涙がとまらず、またゼロからスタートするんだと強く心に誓った。

はととても辛かったけど、新しい公共施設、道路が次々出来ていく風景に「復興してるんだ」と思い知らされる。その中で私も人だから欲というものが出来てしまう。たとえ通りやすい道があつて、行つた先では買物物が出来ても、自分が住む近くには必要なものが出来てないような気がする。細かく言えばガソリンスタンド。家から二〜三十分の所にしかなく、不便な思いをしている。私だけではなく、少な

い人数でも思ってる人たちは居るはず。これから自分は、どれくらい生きるか分からないけど、これからの南三陸町民が笑顔で『復幸』していくために、一人一人がたが上がつて進んで行つてほしいと言つるのが願いです。

議会から

震災から七年。本来あつたはずの環境が未だ姿を見せない場面も少なくありません。

ハード事業からソフト事業へ。町と住民と議会の力をあわせて、南三陸町を持続可能な新しい町へと形をかえていきましょう。

次の世代へ残していく「モノ」



伊里前 末松 知華さん

「すっかりこつちの人になつたね。」神奈川県から南三陸町に来て間も無く4年。こんな言葉が掛けられる事が増えてきました。

沢山の方々との出会いがあり、この町の魅力はまだまだあると毎日の様に気付かされています。私のような移住者は日々増えていますし、この町で家庭を築

いた人もいます。災害公営住宅の一般開放で移住者の住宅問題は少し解消されましたが、住宅も限りがあり、民間のアパートは手が出せない。今後更に移住する人や若い世代の独立といった時に不安を感じます。子育ては待機児童もなく、地域の方が子どもを育てている場面に出席する事が多く、とても良い印象を持っています。

も地域の皆さんの魅力ある笑顔が失われないよう願っています。

議会から

溢れる程豊かな人情味ある地域住民がそれぞれ、脈々と受け継いできた伝統、文化、豊かな自然。それを次世代に引き継ぐことは勿論、新しい仲間の「感じ」を大切に「共に」課題や問題解決に取り組み、みんなが笑顔で暮らせる町へ向けて頑張ります。

皆さん議会傍聴に来てください

次回の定例議会は 6月を予定しています。

- 日程等は議会事務局にお問い合わせください。 TEL (0226) 46-1375
- ホームページは「南三陸町議会」で検索できます。

編集後記

ウグイスの声に、春の選抜高校野球に、そして桜前線の県内入りの報に春を実感しつつ、議会だよりの編集作業をしています。広報委員は読む人を第一に、読んでもらえる、読みやすく、わかりやすくをモットーに取り組んでいます。読んでいただいた皆様に、ここが良かったね、ここが変わつたね、などと言ってもらえるように、日々努力を続けていきますので、是非皆様のご意見を聞かせてください。

菅原 辰雄

議会広報特別委員会

委員長 後藤伸太郎

副委員長 須藤 清孝

委員 倉橋 誠司

佐藤 雄一

千葉 伸孝

菅原 辰雄